



<報道関係各位>

湘南鎌倉人工関節センター

2014年11月12日

実績、啓蒙、教育で人工股関節置換手術の普及に貢献

## 人工関節センター初！人工股関節置換手術の手術件数 5000 件に到達

### 早期退院により、約 26 億円の医療費を削減

湘南鎌倉人工関節センター（鎌倉市台、院長：平川和男）では、2014年11月12日に、人工股関節置換手術の手術件数が、同手術専門の医療施設「人工関節センター」として初めて5000件に到達しました。人工股関節置換手術の合併症発生率は全国平均が6.5%\*であるのに対し、当センターでは約2%と低い水準です。当センターは日本初の「人工関節センター」であり、単科施設でも人工股関節置換手術を実施できることを全国の医師や患者様に発信してきました。また、手術見学の受け入れなど全国の医師の技術の底上げにも力を入れており、同手術の普及を目指しています。

\*2007年厚生労働省「外科手術のアウトカム要因の解析と評価方法に関する研究」中間報告より。早期合併症の延べ数より算出。

人工股関節置換手術は、変形性関節症などにより痛んだ股関節を人工の関節に置き換える手術です。国内の潜在患者は300万人と言われていますが、日本では世界と比較して手術件数が少なく、多くの人が痛みを我慢している状況でした。その後、傷口の小さい最先端手術（MIS）が日本に導入され、専門施設（人工関節センター）の増加や手術の知名度向上などによって、手術件数は年々増加し、2004年の約2万8千件から2012年には約5万件となっています。なお、平川院長は「MIS」を日本に導入したメンバーの1人として、同手術の啓蒙を牽引してきました。

当センターでは、この度の到達は、全国の患者様に同手術が安心であることを伝え、また、全国の医師に「大きな病院でなくても同手術を安全に実施できる」ことを示すものであると考えています。その結果、同手術を手掛ける医師が増え、また、患者様が同手術を選択しやすくなることで、より多くの痛みを我慢している患者様が歩ける喜びを取り戻すことを期待しています。

当センターでは『患者さんにとって真に価値ある医療を提供する』という理念のもと、最善の治療を第一としながら不必要な入院を排除してきました。同手術の平均在院日数が約35日であるのに対して平均7日間と約28日間短縮しており、医療保険制度が負担する費用を削減しています。同制度の崩壊を防ぐために医療費削減の必要性が叫ばれていますが、当センターでは、この度の達成により、関節痛治療による介護費用の圧縮に加え、累計で26億円以上の医療費を削減した計算になります。

<報道関係者からのお問い合わせ先>

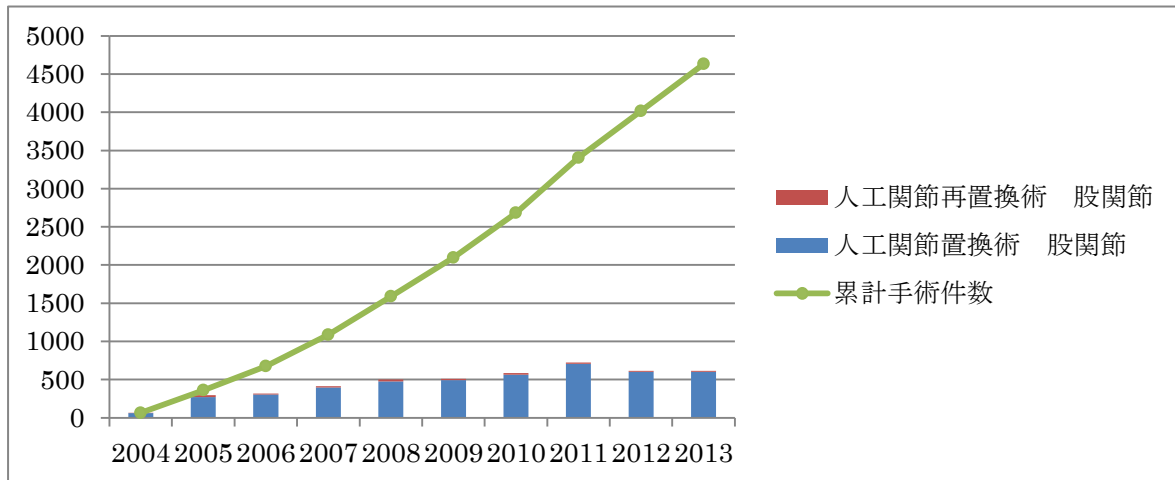
湘南鎌倉人工関節センター 総務課：伊澤、医事課：原島

TEL：0467-47-2377（代表） / Email：[izawa@skjrc.jp](mailto:izawa@skjrc.jp)（伊澤）、[iji@skjrc.jp](mailto:iji@skjrc.jp)（原島）

## <参考資料>

### ■ 5000 件到達概要

- ・ 到達日 2014 年 11 月 11 日
- ・ 件数 5,004 件 (2014 年 11 月 11 日現在)
- ・ 達成の推移



※手術件数の算出について

- ・ 人工股関節置換手術の数字 (再置換手術は 175 件実施)

### ■ 医療費削減効果について

入院費は医療点数によって決定します。医療点数は 1 人の看護師が受け持つ入院患者が 7 人、10 人、13 人、15 人という区分によって異なり、7 人の場合は 1591 点 (15,910 円) となっています。また、入院日数によって、次のような加算があります。

- ・ 1~14 日 450 点加算 ⇒ 1 日 2041 点 (20,410 円)
- ・ 15~30 日 192 点加算 ⇒ 1 日 1783 点 (17,830 円)
- ・ 31~90 日 加算なし ⇒ 1 日 1591 点 (15,910 円)

入院 6 日目からの 30 日間を削減した場合、

$$\text{『}20,410 \times 9 + 17,830 \text{ 円} \times 16 + 15,910 \text{ 円} \times 3 = 516,700$$

$$516,700 \times 5000 = 2,583,500,000 \quad \text{約 26 億円』}$$

の医療費削減になる計算です。

なお、患者個人が負担する「食費」と「差額ベッド代」も減ることから、患者さんの出費も削減されています。